

PTAをけっこうラクにたのしくする方法 大塚玲子 (sample 2017.8)

OPTAの「本来の目的」とは？

- ・学校と保護者の協力関係 保護者同士のつながり 保護者が学べる場 etc.
- ×前例踏襲や PTAの存続のために PTA活動をするわけではない
- 「本来の目的を達成するためには 何が必要か」 を考える

OPTAの「本来のあり方」

- ・ボランティア＝自主的な活動 自分でやりたくてやる活動
- ×全員が 必ずやらなければいけないもの ではない
- 戦後 GHQの指示でPTA設置 このときからあった議論
- ・「加入」と「会費（お金）」と「活動（労働力）」は 別に考えてOK
- 現在は「加入」＝「会費」が一致しているが 分けてもよい

OPTAをけっこうラクにたのしくする方法

●1 強制しない

たくさんある 強制のデメリット

- * 1 楽しくない・PTAが嫌われる原因になる
- * 2 問題が先送りされる
- * 3 辛い人をより追い詰めてしまう
- * 4 まわりも大変になる

しかし、強制をやめたら、やる人が減って まわらないのでは？

→**発想の転換** 「集まった人で できる分量まで 仕事を減らす」

●2 仕事を減らす

◇いまのPTAの状況

子ども・保護者の減少 共稼ぎ・ひとり親の増加 専業主婦の減少
担い手が減っているのに 仕事は減らない または増える
「子どものため」と言われると仕事が減らづらい
先生たちも同様の状況 保護者と先生は互いをラクにし合おう

～仕事を減らす方法～

- * 1 仕事を見直して なくす・やり方を変える
まずは 口に出してみる
アンケートのメリットと くふう
委員会を減らす または 委員会をやめて係活動に
- * 2 「長」（役員さん）が判断する
誰かが 「責任とるよ」（苦情引き受けるよ）といえれば 話が進みだす
そこは「長」にしかできない役目
- * 3 活動のなかでくふうをする
学校に集まる回数を減らす 連絡方法のくふう
有償で外注したっていい （ただし 会費は強制徴収しない前提で）

●3 参加しやすくする

活動する曜日や時間帯の 選択肢を増やす
委員会 一係活動にして 集まる日時を先に提示する
お父さんを参加しやすくする

☆「地元の知り合い」という 財産を得られることの ありがたさ
強制的なかわりより 広く気軽な付き合いが 求められる

●4 たのしくする

- * 1 自分がたのしむ
楽しんでいる人がいると 自然と 空気が変わっていく
- * 2 まじめにやりすぎない
誰もそこまで求めている？ 子どもは親の笑顔が見たい
- * 3 発想をやわらかくする
「こうしなきゃいけない」は 思い込み？
「やってダメなら戻しましょう」
「継続」を前提としすぎない <PTAイベントあるある>

○最新トピックス

- 1 加入意思の確認 熊本のPTA裁判について
- 2 個人情報保護の問題 5/30から改正個人情報保護法施行